

< その他、取組に特徴のある事例 >

## 水路の整備で耕作放棄地を抑制

### 1. 集落協定の概要

市町村・協定名	愛知県 <small>とよたしきせちよう</small> 豊田市 <small>きせ</small> 木瀬町 木瀬			
協定面積 16.5ha	田 (100%) 水稲	畑	草地	採草放牧地
交付金額 105万円	個人配分 0%			
	共同取組活動 (100%)	水路・農道の新設及び改修費		91%
		農用地の管理費 役員報酬		5% 4%
協定参加者	農業者 67人			

### 2. 取組に至る経緯

木瀬集落は水路が整っておらず、水の確保が困難であったため、水の取り合いにもなっていた。このため、高齢化で農用地の維持管理が困難になっても耕作条件が悪いため引き受け手がない状況であった。そこで、集落内の水路整備を行うことで耕作条件を改善し、引き受け手による営農の継続を目的として協定を締結し、農地を保持していくこととした。

### 3. 取組の内容

老朽化した水路の改修、ポンプ式水路の新設を実施したことにより、耕作条件が良くなったことで、耕作放棄されていた農地の引き受け手もできた。今後も水路の補修・改善を行うと伴に、水路経路毎に4つの水路管理組合を設立して管理運営を行うなど、水路の維持管理の体制整備を図る。また、水路への家庭排水流入調査、非農家と共同しての水路の清掃活動、遊休農地の活用に向けた調査を計画している。



老朽化した水路の改修作業

[ 集落の将来像 ]

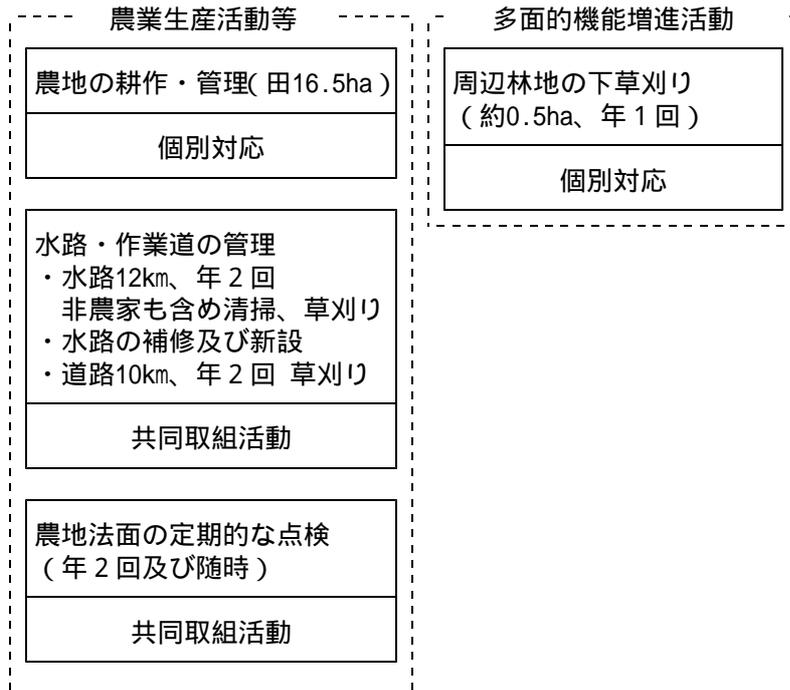
木瀬集落では、高齢化と担い手不足により農地の維持管理が困難になってきており、担い手不足により今後も更なる耕作放棄地の増加が予想される。このため、集落協定参加者との共同作業により農地の保全を図るとともに、地域の担い手育成と集落営農の組織化を検討していく。



[ 将来像を実現するための活動目標 ]

- ・共同取組活動の強化及び高齢化などによる耕作放棄地をなくすよう集落内で検討。
- ・水路・農道等は集落全体の共同作業により維持管理を行う。

[ 活 動 内 容 ]



#### 4 . 取組による変化と今後の課題等

平成21年度以降の取組としては、水路への家庭排水の流入調査、遊休農地活用調査及び草刈、水路管理組合の設立などを予定している。

[ 平成20年度までの主な効果 ]

水路の補修及び、新設( 補修200m、新設400m )  
作業委託による耕作放棄地の発生防止